

特集：2013年「オーディオ・ホームシアター展」より

## ネットワークオーディオを彩るプロダクツの競演

ソニー株式会社

照井 和彦

### はじめに

世界のスタンダードとなったりニア PCM 44.1kHz/16bit デジタルフォーマットを採用した CD (コンパクトディスク) は 1982 年に誕生し、オーディオを楽しむ音楽メディアとして広く普及してきました。それから 30 年以上経過してディスクメディアから飛び出して行ったデータファイルによる音楽試聴は携帯電話を始めとしたポータブルデバイスを愛用する若者達には当たり前になり、また無線通信機能を取り入れることで手軽なスタイルを実現した魅力的なプロダクトも人気を集めています。一方で、オーディオファイルを自認する諸兄の間にもパソコン (PC) を介して音楽を試聴するスタイルが浸透し始めているのは、周知のことと思います。

デジタル技術に注目してみると、再生される音楽の品位を損なわない音楽データ圧縮の開発が進められ、これらはプロダクトの小型化にも大きく貢献してきました。そして今、より良い音質へのこだわりを持つ皆さんからの熱い視線を浴びているのが 44.1kHz/16bit を超える高精細デジタル音源による「ハイレゾリューションオーディオ」の世界ではないでしょうか。

日本オーディオ協会ではポータブルデバイスによる手軽な音楽試聴からハイレゾリューションオーディオにまで渡る世界を「ネットワークオーディオ」の呼称で提案し、ユーザーの皆さまに判り易く紹介していくことでオーディオマーケットを活性化させて行きたいと考えております。その啓発活動の具体例として、オーディオ・ホームシアター展での協会テーマコーナー「ネットワークオーディオ」展示をご紹介します。



## 1. 配信音源



ここは主にハイレゾリューション音源ファイルを配信しているベンダーを紹介するブースです。株式会社クリプトンが運営する「KRIPTON HQM STORE」では 192kHz/24bit 配信による最新録音タイトル一枚のパネルで紹介されていました。オンキヨーエンターテインメントテクノロジー株式会社が運営する「e-onkyo music」では 1bit/DSD による音源配信が拡充されてきた情報を紹介。ナクソス・ジャパン株式会社は自社が運営するサイトの紹介に加え Hi-resolution Classic シリーズが e-onkyo music で配信開始されたことが告知されていました。

## 2. モバイルオーディオ



携帯電話などのモバイルデバイスに保存している音楽データを無線で飛ばし、それを受けて試聴できる小型オーディオプロダクトを中心に展示しました。参加したブランドは、ヤマハ、オンキヨー、ソニー、JVC ケンウッド、パナソニック、パイオニア。小型とは言え手のひらサイズからデスクトップサイズまで様々でしたが、音質の良さや機器間の接続（ペアリング）が手軽に行えるなど、今後も進化が期待できる分野で、展示したカーオーディオの対応プロダクトなども人気を博していました。

### 3. リビングで楽しむ



大型小型スピーカーシステムを用いた本格派オーディオが楽しめるプロダクトです。配信されている音源を取り込むためのインターネットやホームネットワーク経由との接続方法を説明したパネルを中心に展示しており、今回の展示の中でも最も展示モデル数の多いコーナーです。参加は、オンキヨー、ヤマハ、ソニー、バッファロー、パナソニック、JVCケンウッド、パイオニア、ティアック、スフォルツアートと8ブランドの試聴プロダクトとネットワーク環境が集いました。音源ファイルをプロダクトの外にネットワークを介して専用デバイスに置くか、ハードディスクなどを内蔵して自身で取り込むなど、再生方法や操作方法など各社の特徴も様々です。

音源は e-onkyo music から、ヘッドホンはオンキヨー製品に統一してコーナーの試聴条件を揃えることでモデル毎の特徴の違いが判り易く、リスニングを試みる来場者からも大変好評でした。

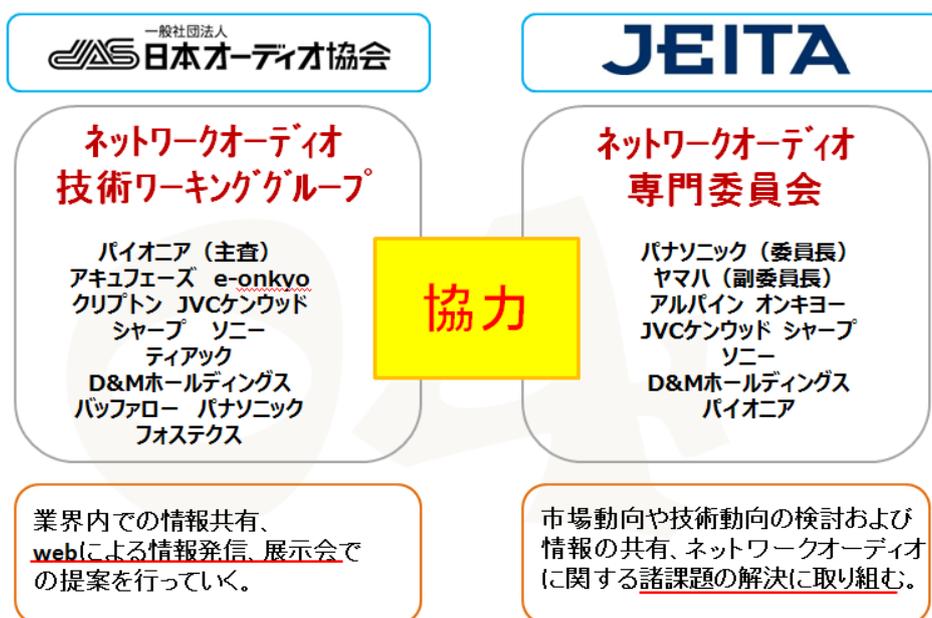
### 4. マイオーディオ



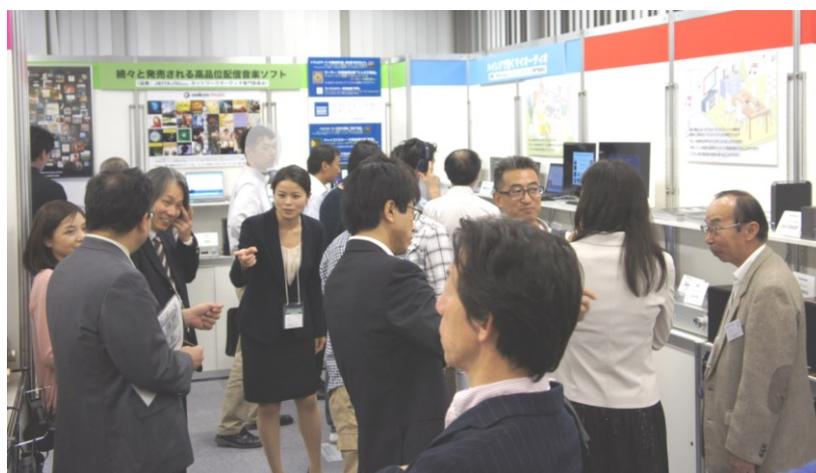
家庭内においてハイレゾ音源を手軽に楽しむには PC を中心に置いてオーディオ機器をその周辺機器として構築していく考え方が合理的でした。PC 活用方法を知っている人には手軽に高音質が楽しめる USB 接続による DA コンバーターなどを中心に展示しました。参加メーカーはオンキヨー、ソニー、アキュフェーズ、ティアックの4社。

ここでも音源は e-onkyo music から、ヘッドホンはオンキヨー製品に統一してコーナー全体の試聴条件を統一し、比較試聴の利便性を考慮しました。

## 5. 運営



日本オーディオ協会と JEITA（電子情報技術産業協会）ではオーディオ市場の活性化を目的としながら様々な協力関係を結んでおります。この「ネットワークオーディオ」展示も企画運営面でも JEITA 組織のバックアップに支えられて滞りなく進めることが出来ました。今後は情報 web の構築など更なるユーザーサービス向上に取り組んで行くことを予定しています。



<関係者の情報交換も盛んに行われていたネットワークオーディオ展示コーナー>



提供：JEITA

この展示会で披露できたプロダクトは広い「ネットワークオーディオ」領域の一部です。わたくしたちメーカー関係者は更にユーザーの皆さまに楽しんで頂けるよう商品開発にも力を入れて頑張っていきます。次回の展示会も心をこめて企画する予定です。是非とも期待してください。

筆者プロフィール： 照井 和彦（てるい かずひこ）

1978年ソニー株式会社入社。オーディオ商品設計、CBS ソニー・レコード、ソニー広報、スーパーオーディオ CD フォーマットプロモーション等に携わる。現在ソニーV&S 事業部。JEITA オーディオネットワーク事業委員会委員長。